

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岩手県奥州市 奥州市総合水沢病院

| 法適用区分   | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分          | 管理者の情報     |
|---------|---------|---------|---------------|------------|
| 条例全部    | 病院事業    | 一般病院    | 100床以上～200床未満 | 自治体職員      |
| 経営形態    | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1     | 指定病院の状況 ※2 |
| 運営      | 11      | -       | ド透1訓ガ         | 救感輪        |
| 人口（人）   | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置          |            |
| 118,852 | 16,726  | 非該当     | 10:1          |            |

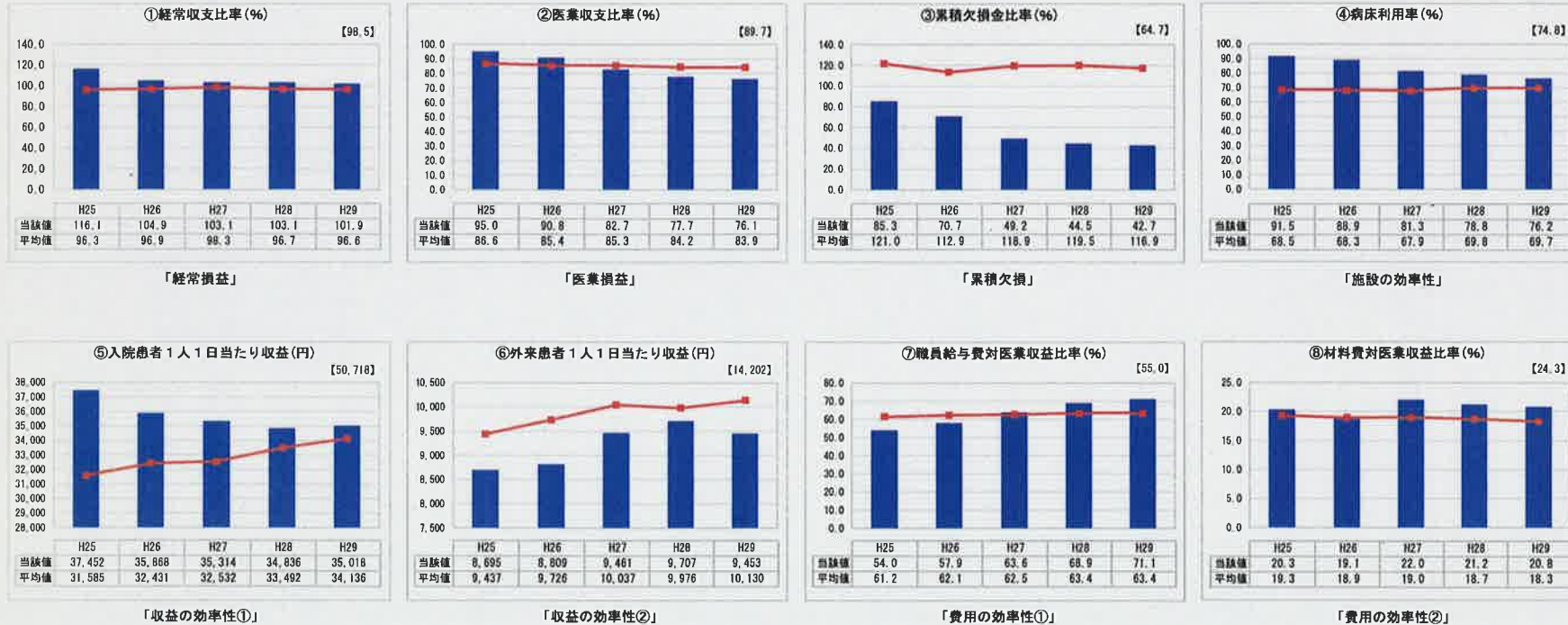
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養）  | 許可病床（結核）    |
|----------|-----------|-------------|
| 164      | -         | -           |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計）    |
| -        | 4         | 168         |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養）  | 稼働病床（一般+療養） |
| 164      | -         | 164         |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該病院値（当該値）   |
| - 類似病院平均値（平均値） |
| □ 平成29年度全国平均   |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

## I 地域において担っている役割

胆江二次医療圏の二次救急医療施設として、また、急性期医療から回復期医療を担う医療施設として、一般病床(145床)、感染症病床(4床)、人工透析(14床)、健診センター、訪問看護ステーション、運動療法施設などを備え、内科、循環器内科、外科、小児科、整形外科、泌尿器科等を中心とした医療を提供しています。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超え黒字経営を継続していますが、医師の退職等により病床利用率や医業収支比率が低下傾向にあります。また、職員の高齢化や人員増等により職員給与費対医業収益比率が上昇傾向にあります。

なお、入院患者1人1日当たり収益は整形外科及び外科等の高単価手術などにより類似病院平均値を超えています。また、外来患者1人1日当たり収益は、診療単価が低い小児科患者数の全体に占める割合が大きいため、同平均値を下回っています。

### 2. 老朽化の状況について

昭和43年築の検査手術棟はもとより、耐用年数(39年)が迫る本館も老朽化・陳腐化により様々な不具合が生じており、建替えを要する時期を迎えています。

### 全体概括

常勤医師の招へい等により病床利用率を高め収入増を図ると共に、医薬品ベンチマーク等の費用適正化により経費削減を図り、一層の経営改善を行う必要があります。

また、現施設の老朽化による建替えについては、診療圏人口の高齢化や回復期患者の受入れを増加させることが課題となっており、県が示す地域医療構想を踏まえて地域で検討していくこととなるため、県の関係部局や地元医師会等との十分な協議を加え、医師不足や財政的な課題も含めながら検討を進めます。